

# 静岡県月例経済報告

(令和2年6月号)

……令和2年4月を中心とした県内経済のすがた……

No. 530

—静岡県経済産業部—

## 目 次

I 静岡県経済の概況 .....	1
II 静岡県主要経済指標の概況 .....	4
・需要面 .....	4
・生産面 .....	12
・雇用面 .....	14
・その他 .....	17
III 静岡県主要産業の動向 .....	21
IV データからみた県内主要産業 .....	24

## 利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL) <https://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>

# I 静岡県経済の概況

〔 本稿は、令和2年4月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。 〕

## 概況

令和2年4月を中心とした静岡県の景気は、さらに悪化している。  
先行きについては、新型コロナウイルス感染症の影響から当面、厳しい状況が続くと見込まれる。

雇用情勢は、より一層注意する必要がある。

- ・ 個人消費は、減少している。
- ・ 設備投資は、このところ弱含んでいる。
- ・ 輸出は、減少している。
- ・ 生産は、大幅に減少している。

(下線部は前月からの変更箇所)

## 需要面

### 「個人消費は、減少している」

大型小売店販売額(4月)は、スーパーが3か月連続で前年実績を上回ったものの、百貨店が7か月連続で前年実績を下回ったことから、総額でも2か月連続で前年実績を下回った。

専門量販店等販売額(4月)は、家電大型専門店、コンビニエンスストアがいずれも2か月連続で前年実績を下回ったものの、ドラッグストアが6か月連続、ホームセンターが3か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも2か月ぶりに前年実績を上回った。

自動車(新車)新規登録台数(4月)は、乗用車、軽自動車がいずれも7か月連続で前年実績を下回ったことから、総数でも7か月連続で前年実績を下回った。

### 「住宅建設は、前年を下回った」

新設住宅着工戸数(4月)は、貸家が4か月ぶりに前年実績を上回ったものの、持家が2か月ぶり、分譲住宅が2か月連続で前年実績を下回ったことから、全体でも4か月連続で前年実績を下回った。

### 「公共投資は、前年を下回った」

公共工事請負金額(4月)は、4か月ぶりに前年実績を下回った。

### 「設備投資は、このところ弱含んでいる」

日銀短観(3月調査)の令和2年度の設備投資(含む土地投資)(計画)は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。

また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資(除く土地投資)(計画)は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。

一方、新型コロナウイルス感染症による先行きの不透明感から、設備投資の絞り込みや先

送りの動きが広がっている。

着工建築物床面積（非居住用）（4月）は、2か月ぶりに前年実績を下回った。

### 「輸出は、減少している」

#### 「輸入は、前年を下回った」

輸出総額（4月）は、科学光学機器が11か月連続で前年実績を上回ったものの、原動機、自動車の部分品がいずれも3か月連続、エアコンが8か月連続、自動車は3か月ぶり、二輪自動車類が4か月連続で前年実績を下回ったことから、総額でも3か月連続で前年実績を下回った。

また、輸入総額（4月）は、原動機が2か月連続で前年実績を上回ったものの、魚介類及び同調製品が9か月連続、木材が2か月連続、パルプが7か月連続、紙類及び同製品が3か月ぶり、自動車の部分品が13か月連続で前年実績を下回ったことから、総額でも12か月連続で前年実績を下回った。

なお、輸出入のバランスは、599億円の輸出超過となった。

## 生産面

### 「生産は、大幅に減少している」

鉱工業生産指数（4月）は、はん用・生産用・業務用機械が6か月連続、電気機械、パルプ・紙・紙加工品がいずれも9か月連続、輸送機械が15か月連続、化学が3か月連続、食料品・たばこが2か月連続で前年水準を下回ったことから、総合でも11か月連続で前年水準を下回った。また、前月比は3か月連続で低下した。

なお、鉱工業在庫指数（4月）は、総合では2か月連続で前年水準を下回った。

## 雇用面

### 「雇用情勢は、より一層注意する必要がある」

有効求人倍率（4月）は1.17倍で、前月を0.05ポイント下回った。また、75か月連続で1倍を上回った。なお、13か月連続で全国値を下回った。

雇用保険受給者実人員（4月）は、8か月連続で前年実績を上回った。

また、所定外労働時間指数（3月）は、14か月連続で前年実績を下回った。

## その他

### 「金融環境は、貸出残高、信用保証金額のいずれも前年を上回った」

県内金融機関の貸出残高（4月）は、前年同月比 1.7%増と前年実績を上回った。

信用保証協会保証金額（4月）は、前年同月比 1178.7%増と前年実績を上回った。

### 「企業倒産は、件数、負債総額のいずれも前年を下回った」

企業倒産（5月）は、件数は11件（前年同月比 35.2%減）、負債総額は16億6,900万円（同 9.6%減）と、前年実績を下回った。

<令和2年6月23日時点>

## 企業の皆様、働く皆様へ 新型コロナウイルス感染症に係る緊急支援策

資金繰り支援	融資を受けたい。 資金繰りについて相談したい。	県制度融資「国連携新型コロナウイルス感染症対策貸付」	商工金融課
		県制度融資「経済変動対策貸付」 （新型コロナウイルス感染症対応枠）	商工金融課
		参考（日本政策金融公庫） 新型コロナウイルス感染症特別貸付	日本政策金融公庫
		農林水産業災害対策資金 利子補給金	農業ビジネス課 林業振興課 水産振興課
雇用の維持	労務管理や雇用調整助成金等について専門家に相談したい。	中小企業センター事業 小規模事業経営支援事業	経営支援課
	雇用調整助成金について相談したい。	参考（厚生労働省） 雇用調整助成金	静岡労働局
	再就職のための職業訓練を受けたい。	離職者等再就職支援事業	職業能力開発課
	就職相談、キャリアカウンセリング等の各種アドバイスを受けたい。	しずおかジョブステーション 運営事業	労働雇用政策課
	離職した外国人技能実習生の再就職について相談したい。	外国人技能実習生等再就職支援事業	労働雇用政策課
	新たな生活様式に対応するITスキル等の獲得に向けた在職者訓練を受けたい。	生産性向上職業訓練事業	職業能力開発課
感染症拡大防止対策と社会経済活動の両立	新たなビジネスモデルに挑戦したい。	小規模企業経営力向上支援事業	経営支援課
	通販サイト（EC）を活用して、販路拡大に取り組みたい。	県産品消費回復緊急対策事業	マーケティング課
	JA静岡経済連の通販サイト（EC）を活用して販路拡大に取り組みたい。	農林水産物販売促進緊急対策事業	農業戦略課
	水産業でネット通販やスーパー向け販路開拓等の新事業を展開したい。	水産イノベーション対策支援推進事業 （新型コロナウイルス感染症対策特別枠）	水産振興課
	山梨県と連携した県産品等の販売に取り組みたい。	ふじのくに（静岡・山梨）県産品販売促進連携事業	マーケティング課
	県内ブランド和牛肉や県産水産物等の需要先を確保したい。	和牛肉等販売促進緊急対策事業 水産物販売促進緊急対策事業	畜産振興課 水産振興課
	医療機器等の製品開発や生産に取り組みたい。	医療機器産業基盤強化推進事業	新作業集積課

詳細は静岡県経済産業部のホームページに掲載しております。



## II 静岡県主要経済指標の概況

### 需 要 面

#### 1 個人消費

##### (1) 大型小売店販売額

4 月 = 31,454百万円

\* 前年同月比： 11.9%減

(県内3百貨店、152スーパー合計)

<概況>

4月の大型小売店販売額は31,454百万円で、前年同月比11.9%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。

業態別にみると、スーパー（前年同月比0.3%増）が3か月連続で前年実績を上回ったものの、百貨店（同64.2%減）が7か月連続で前年実績を下回った。

商品別では、飲食料品（前年同月比2.5%増）が3か月連続で前年実績を上回ったものの、衣料品（同63.8%減）、身の回り品（同57.8%減）、家庭用品（同23.9%減）がいずれも7か月連続で前年実績を下回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は8.8%減と、2か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R元年9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月
販売額(百万円)	35,248	31,310	33,275	41,861	33,831	30,869	35,437	31,454
前年同月比(%)	7.0	▲7.5	▲1.9	▲3.9	▲2.6	3.2	▲5.9	▲11.9
うち百貨店(%)	18.2	▲20.5	▲6.5	▲7.2	▲5.8	▲5.5	▲28.9	▲64.2
スーパー(%)	4.5	▲4.5	▲0.7	▲2.9	▲1.8	5.3	0.1	0.3
(参考1)全国前年同月比(%)	10.0	▲8.2	▲1.8	▲3.0	▲1.4	0.2	▲10.1	▲22.1
うち百貨店(%)	22.8	▲16.4	▲4.8	▲3.7	▲1.8	▲10.5	▲31.9	▲71.1
スーパー(%)	4.4	▲4.3	▲0.2	▲2.6	▲1.3	5.3	1.3	0.9
(参考2)県前年同月比(店舗数調整前)	8.9	▲6.3	▲1.0	▲2.9	▲1.3	4.5	▲4.9	▲8.8

(注1) 販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

(注2) 令和2年3月に調査事業者の見直しを行ったため、前年同月比の計算についてはリンク係数処理済み

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	R元年9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月
衣料品	14.0	▲16.8	▲3.2	▲8.4	▲7.0	▲3.7	▲32.8	▲63.8
うち紳士服・洋品	9.4	▲14.3	▲0.1	▲9.8	▲7.5	▲3.7	▲29.1	▲60.8
婦人・子供服・洋品	14.7	▲17.4	▲4.5	▲7.8	▲6.8	▲3.4	▲34.4	▲65.9
身の回り品	22.3	▲23.6	▲9.8	▲12.5	▲5.3	▲6.0	▲27.7	▲57.8
飲食料品	0.1	▲2.7	▲0.4	▲1.0	▲0.9	5.1	2.5	2.5
家庭用品	20.8	▲14.6	▲2.0	▲9.9	▲4.0	▲0.7	▲15.5	▲23.9
うち家庭用電気機械器具	38.3	▲16.0	▲8.6	▲16.5	▲9.0	▲2.2	▲25.8	▲26.1

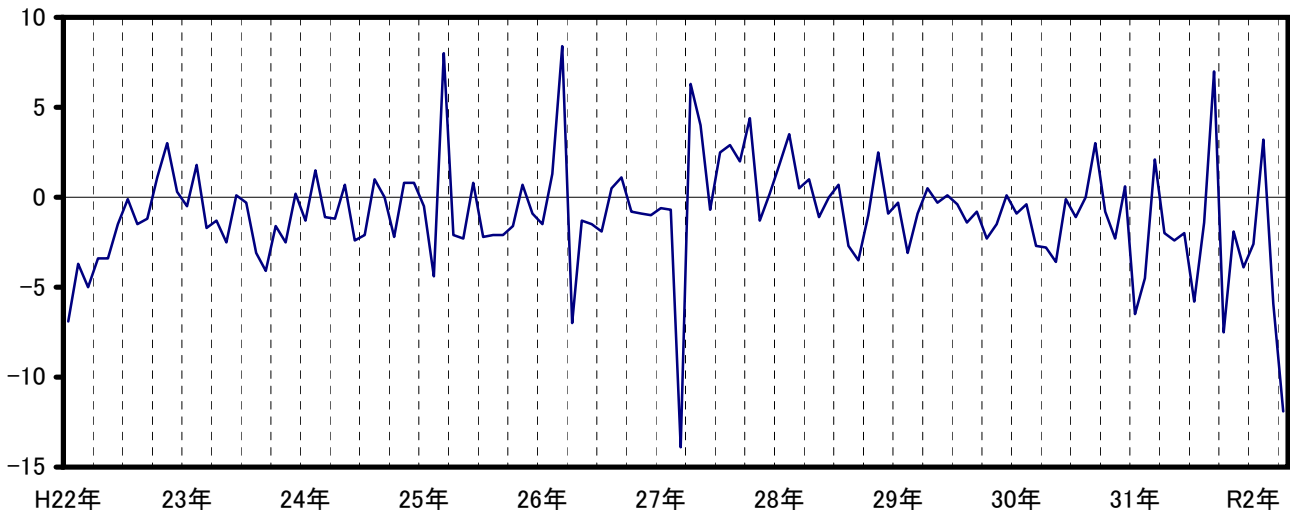
(注) 店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



(2) 専門量販店等販売額

4月 = 69,253百万円

\*前年同月比：0.6%増

(県内89家電大型専門店、1,681コンビニエンスストア、508ドラッグストア、109ホームセンター合計)

<概況>

4月の専門量販店等販売額は69,253百万円で、前年同月比0.6%増となり、2か月ぶりに前年実績を上回った。

業態別にみると、家電大型専門店(前年同月比3.7%減)、コンビニエンスストア(同9.3%減)がいずれも2か月連続で前年実績を下回ったものの、ドラッグストア(同11.6%増)が6か月連続、ホームセンター(同8.5%増)が3か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R元年9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月
販売額(百万円)	78,161	65,726	66,472	77,821	67,663	67,080	71,656	69,253
前年同月比(%)	17.1	▲1.9	1.8	▲0.4	0.7	9.4	▲0.4	0.6
うち 家電大型専門店(%)	49.0	▲15.9	▲6.9	▲11.6	▲3.7	3.1	▲8.0	▲3.7
コンビニエンスストア(%)	▲0.2	2.3	2.1	▲0.3	0.5	3.5	▲5.5	▲9.3
ドラッグストア(%)	22.3	▲3.8	2.7	3.2	4.3	18.7	7.6	11.6
ホームセンター(%)	23.9	▲9.3	▲4.1	▲5.4	▲3.7	10.6	5.1	8.5
(参考)全国前年同月比(%)	16.1	▲1.0	1.2	▲1.1	2.1	8.5	▲1.9	▲2.9

(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整

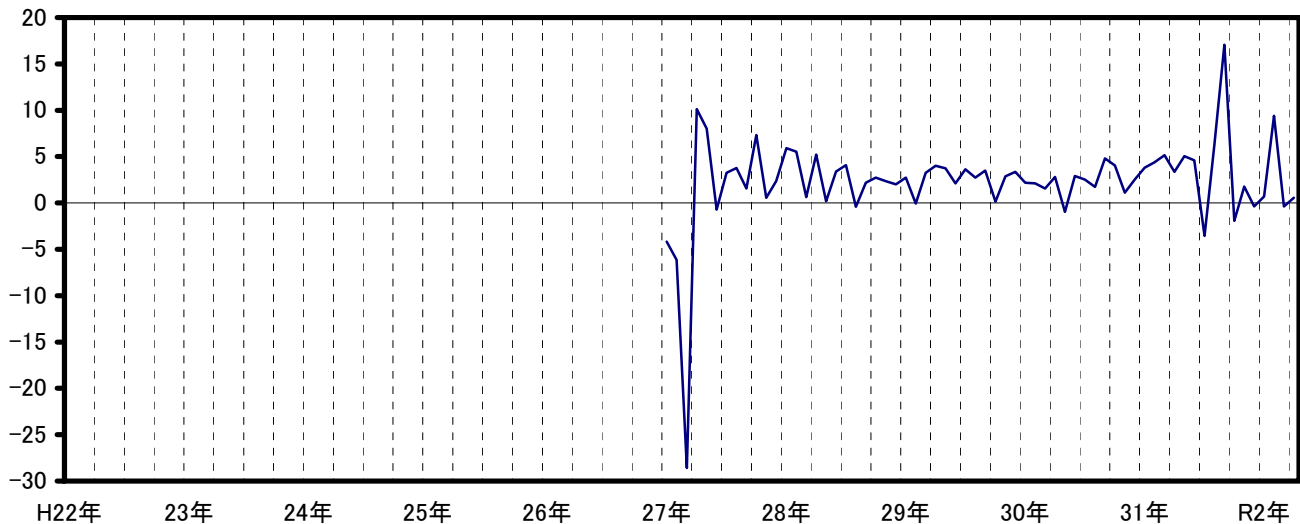
<資料>経済産業省

(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

<過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



### (3) 自動車(新車)新規登録台数

4月 = 9,339台

\*前年同月比：26.0%減

(乗用車、軽自動車合計)

#### <概況>

4月の自動車(新車)新規登録台数は9,339台(前年同月比26.0%減)と、7か月連続で前年実績を下回った。

車種別にみると、乗用車(前年同月比25.7%減)、軽自動車(同26.3%減)がいずれも7か月連続で前年実績を下回った。

#### <最近の動き>

	R元年9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月
登録台数(台)	18,730	10,962	12,913	11,882	13,792	15,947	20,352	9,339
前年同月比(%)	11.7	▲22.2	▲12.3	▲10.0	▲12.0	▲10.2	▲8.1	▲26.0
(参考)全国前年同月比(%)	13.6	▲25.1	▲11.6	▲11.1	▲12.1	▲9.8	▲8.9	▲30.4

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

#### <車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

(単位：%)

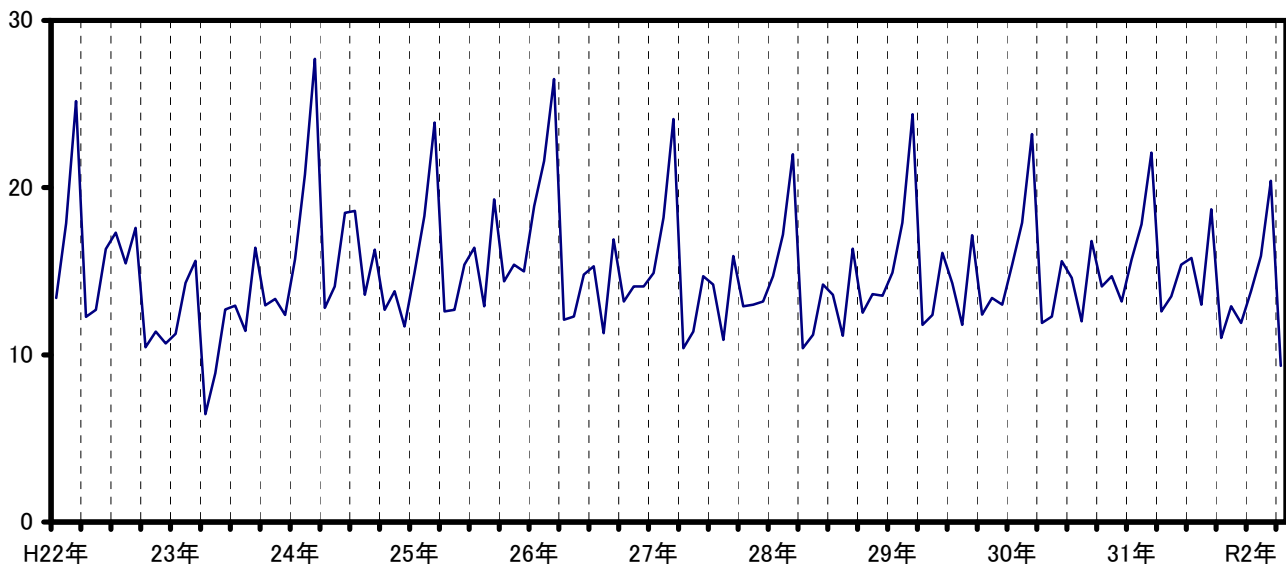
	R元年9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月
全乗用車	11.7	▲22.2	▲12.3	▲10.0	▲12.0	▲10.2	▲8.1	▲26.0
乗用車	10.4	▲28.1	▲18.3	▲8.3	▲16.9	▲13.2	▲11.4	▲25.7
軽自動車	13.4	▲15.1	▲4.5	▲12.2	▲6.2	▲6.7	▲4.0	▲26.3

<資料>県税務課

#### <過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課



(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車



## 2 新設住宅着工戸数

4月 = 1,774 戸

\*前年同月比： 4.4%減

### <概況>

4月の新設住宅着工戸数は1,774戸で、前年同月比 4.4%減と、4か月連続で前年実績を下回った。

利用関係別にみると、貸家（前年同月比 15.1%増）が4か月ぶりに前年実績を上回ったものの、持家（同 8.1%減）が2か月ぶり、分譲住宅（同 15.4%減）が2か月連続で前年実績を下回った。

### <最近の動き>

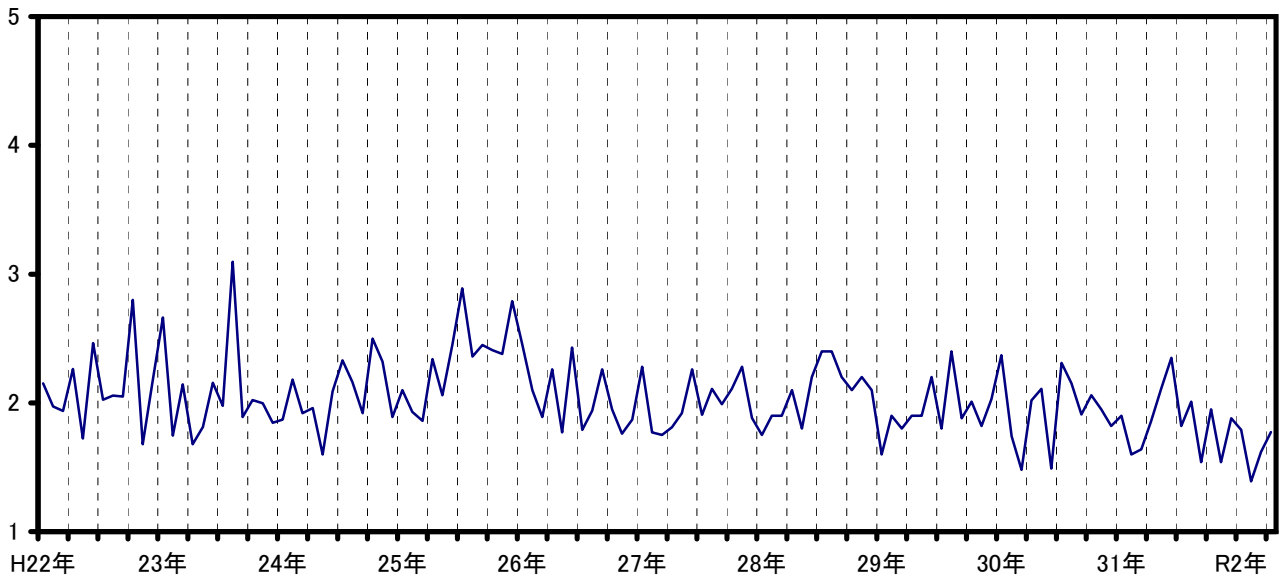
	R元年9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月
戸数（戸）	1,536	1,951	1,539	1,882	1,792	1,391	1,624	1,774
前年同月比（%）	▲ 19.5	▲ 5.2	▲ 21.1	3.3	▲ 5.5	▲ 13.2	▲ 1.1	▲ 4.4
うち持家（%）	▲ 6.6	▲ 3.3	▲ 7.6	▲ 6.4	▲ 8.5	▲ 18.9	5.8	▲ 8.1
貸家（%）	▲ 32.1	▲ 25.3	▲ 46.8	20.0	▲ 10.5	▲ 21.4	▲ 6.6	15.1
分譲住宅（%）	▲ 35.3	30.4	▲ 11.7	2.7	2.7	21.8	▲ 11.4	▲ 15.4
(参考)全国前年同月比（%）	▲ 4.9	▲ 7.4	▲ 12.7	▲ 7.9	▲ 10.1	▲ 12.3	▲ 7.6	▲ 12.9

<資料>県住まいづくり課

### <過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課



### 3 公共工事請負金額

4 月 = 68,572百万円

\* 前年同月比： 15.9%減

(建設保証会社保証実績)

#### <概況>

4月の公共工事の請負金額(工事場所ベース)は68,572百万円で、前年同月比15.9%減となり、4か月ぶりに前年実績を下回った。また、取扱い件数(工事場所ベース)は664件で、前年同月比18.8%増となり、4か月連続で前年実績を上回った。

#### <最近の動き>

	R元年9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月
金額(百万円)	64,202	33,436	17,066	15,352	14,407	13,907	21,165	68,572
前年同月比(%)	55.9	40.2	15.1	▲31.2	52.8	29.9	46.0	▲15.9
年度累計前年同月比(%)	31.6	32.4	31.4	26.5	27.3	27.4	28.3	▲15.9
件数(件)	1,076	931	675	545	385	297	378	664
前年同月比(%)	▲9.2	26.2	▲2.2	▲24.2	22.2	78.9	41.0	18.8
年度累計前年同月比(%)	▲5.3	▲1.1	▲1.2	▲3.6	▲2.4	▲0.6	0.8	18.8

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

#### <発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

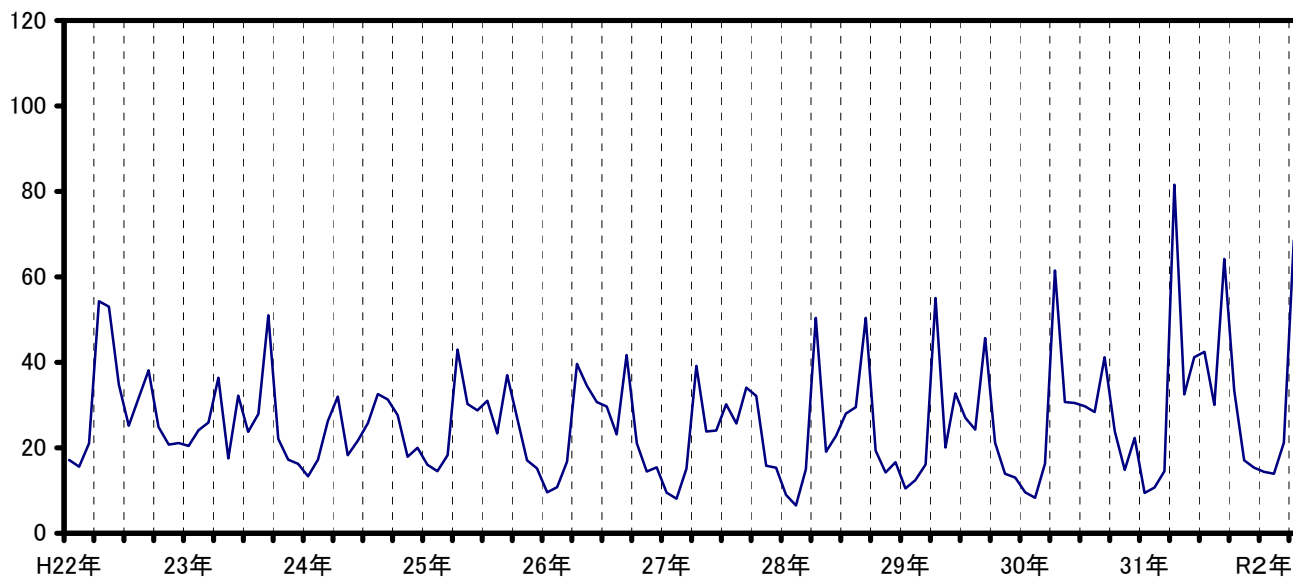
	R元年9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月
国	11.9	194.5	30.5	▲28.7	24.4	79.8	58.9	▲40.4
独立行政法人等	257.1	▲79.6	66.2	53.0	271.0	9.4	▲86.6	▲61.1
県	16.6	142.7	83.1	▲32.8	66.0	48.6	191.3	64.1
市町	6.3	4.7	▲2.1	▲44.6	27.8	51.2	22.8	7.6
地方公社	▲8.8	308.0	▲9.7	▲82.4	1,713.8	-	-	▲85.8
その他	175.8	91.5	▲73.6	▲71.1	329.2	▲89.7	▲93.0	▲65.2

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

#### <過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店



## 4 設備投資

### <概況>

令和元年度の設備投資（含む土地投資）、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加の計画となっている。

令和2年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業（前年度比 10.2%増）、非製造業（同 1.1%増）、全産業（同 5.9%増）においていずれも増加する計画となっている。また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業（前年度比 4.7%増）、非製造業（同 2.4%増）、全産業（同 4.1%増）においていずれも増加する計画となっている。

4月の着工建築物床面積（非居住用）は88,441㎡で、前年同月比 35.3%減となり、2か月ぶりに前年実績を下回った。

### <企業短期経済観測調査結果>（前年度比% 設備投資（含む土地投資）

		R元年度 (計画)	R2年度 (計画)
全産業	県	(0.8) 6.5	5.9
	全国	(▲0.5) 2.7	▲0.4
製造業	県	(▲6.1) 11.9	10.2
	全国	(▲2.6) 4.1	2.4
非製造業	県	(9.4) 1.3	1.1
	全国	(0.7) 1.9	▲2.0

（ ）内は前回調査比修正率

### ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）

		R元年度 (計画)	R2年度 (計画)
全産業	県	(▲0.4) 4.4	4.1
	全国	(▲0.8) 4.2	1.2
製造業	県	(▲3.2) 5.3	4.7
	全国	(▲1.9) 3.4	2.5
非製造業	県	(8.3) 2.1	2.4
	全国	(0.4) 5.1	▲0.2

（注1）平成29年3月調査分から半期計数の掲載を取り止め、年度計数のみを掲載

（注2）平成29年3月調査分から「ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）」を追加

<資料>日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(令和2年3月調査)」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」(令和2年3月調査)」

### <最近の動き>

	R元年9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	91,195	189,974	118,282	131,035	65,693	68,069	88,664	88,441
前年同月比（%）	▲ 61.5	64.0	35.4	▲ 38.2	▲ 4.1	▲ 55.5	15.5	▲ 35.3
(参考) 全国前年同月比（%）	▲ 18.4	▲ 14.8	▲ 9.7	▲ 2.5	▲ 25.1	▲ 2.6	11.5	▲ 9.1

（注3）着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

### <参考 県内企業の業況判断D. I. >

		R元年12月	R2年3月	R2年6月 (予測)
全産業	全産業	▲ 1	▲ 10	▲ 23
	製造業	▲ 10	▲ 19	▲ 29
	非製造業	6	▲ 3	▲ 19
(参考) 全国・全産業		4	▲ 4	▲ 18

（注4）業況判断D. I. : 「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(令和2年3月調査)」

## 5 輸出

4月 = 147,562百万円

\*前年同月比： 13.3%減

(清水税関支署管内通関実績)

### <概況>

4月の清水税関支署管内の輸出総額は147,562百万円で、前年同月比 13.3%減となり、3か月連続で前年実績を下回った。

主要な品目別にみると、科学光学機器（前年同月比 7.3%増）が11か月連続で前年実績を上回ったものの、原動機（同 37.1%減）、自動車の部分品（同 16.9%減）がいずれも3か月連続、エアコン（同 33.7%減）が8か月連続、自動車（同 64.3%減）が3か月ぶり、二輪自動車類（同 25.3%減）が4か月連続で前年実績を下回った。

地域別にみると、アジア向け（前年同月比 1.2%減）が2か月連続、米国向け（同 23.3%減）が9か月連続、EU向け（同 27.4%減）が5か月連続で前年実績を下回った。

### <最近の動き>

	R元年9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月
輸出総額(百万円)	163,977	187,463	176,427	186,921	154,849	177,796	181,032	147,562
前年同月比(%)	▲14.8	0.4	▲2.0	▲11.5	2.6	▲1.5	▲10.3	▲13.3

<資料>清水税関支署

### <主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R元年9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月
原動機	▲28.2	▲11.5	▲13.3	▲18.5	4.9	▲13.4	▲14.7	▲37.1
エアコン	▲26.2	▲0.8	▲30.0	▲38.4	▲6.1	▲27.7	▲20.6	▲33.7
自動車	▲29.0	▲10.9	12.8	14.5	▲21.1	25.1	15.1	▲64.3
自動車の部分品	▲23.7	▲16.2	▲10.2	▲16.5	2.2	▲11.4	▲25.8	▲16.9
二輪自動車類	21.4	37.1	13.3	7.0	▲12.2	▲8.6	▲6.5	▲25.3
科学光学機器	19.1	31.1	8.8	20.3	52.4	42.0	19.8	7.3

<資料>清水税関支署

### <地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R元年9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月
アジア	▲13.5	0.2	▲3.7	▲6.4	8.0	2.4	▲14.2	▲1.2
米国	▲14.1	▲10.9	▲7.5	▲15.2	▲4.9	▲5.5	▲10.2	▲23.3
EU	▲16.7	22.2	11.8	▲14.9	▲0.3	▲4.3	▲11.3	▲27.4

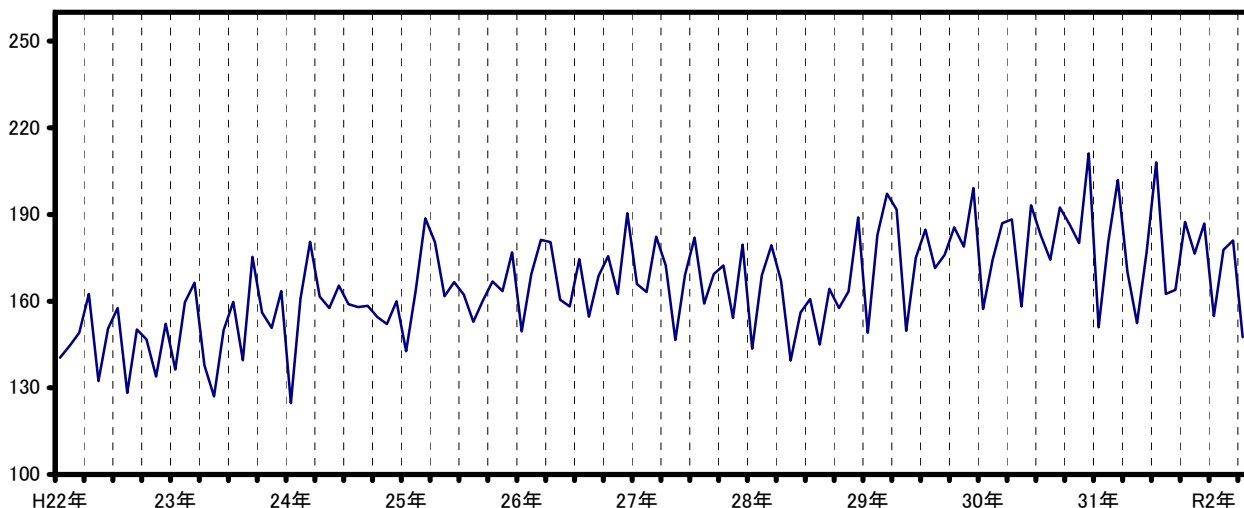
<資料>清水税関支署

(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。  
なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

### <過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署



## 6 輸入

4月 = 87,639百万円

\*前年同月比： 13.4%減

(清水税関支署管内通関実績)

### <概況>

4月の清水税関支署管内の輸入総額は87,639百万円で、前年同月比 13.4%減となり、12か月連続で前年実績を下回った。

主要な品目別にみると、原動機（前年同月比 4.6%増）が2か月連続で前年実績を上回ったものの、魚介類及び同調製品（同 18.6%減）が9か月連続、木材（同 17.4%減）が2か月連続、パルプ（同 27.1%減）が7か月連続、紙類及び同製品（同 8.1%減）が3か月ぶり、自動車の部分品（同 32.0%減）が13か月連続で前年実績を下回った。

地域別では、米国から（前年同月比 33.7%増）が2か月連続で前年実績を上回ったものの、アジアから（同 15.2%減）が2か月ぶり、EUから（同 18.9%減）が9か月連続で前年実績を下回った。

### <最近の動き>

	R元年9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月
輸入総額(百万円)	83,641	86,696	91,217	80,725	90,845	66,626	89,319	87,639
前年同月比(%)	▲1.2	▲17.4	▲6.0	▲20.0	▲13.0	▲14.0	▲1.7	▲13.4

<資料>清水税関支署

### <主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R元年9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月
魚介類及び同調製品	▲7.0	▲18.3	▲10.8	▲32.6	▲28.9	▲17.0	▲5.1	▲18.6
木材	▲1.7	▲14.5	11.4	2.4	▲13.9	6.4	▲27.9	▲17.4
パルプ	5.4	▲43.8	▲33.9	▲15.6	▲50.3	▲15.5	▲19.7	▲27.1
紙類及び同製品	▲8.0	9.8	▲14.5	15.2	▲7.9	54.2	8.5	▲8.1
原動機	67.2	1.0	▲15.4	▲15.5	▲20.5	▲29.0	44.1	4.6
自動車の部分品	▲20.5	▲42.5	▲40.3	▲34.6	▲9.9	▲41.2	▲5.0	▲32.0

<資料>清水税関支署

### <地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

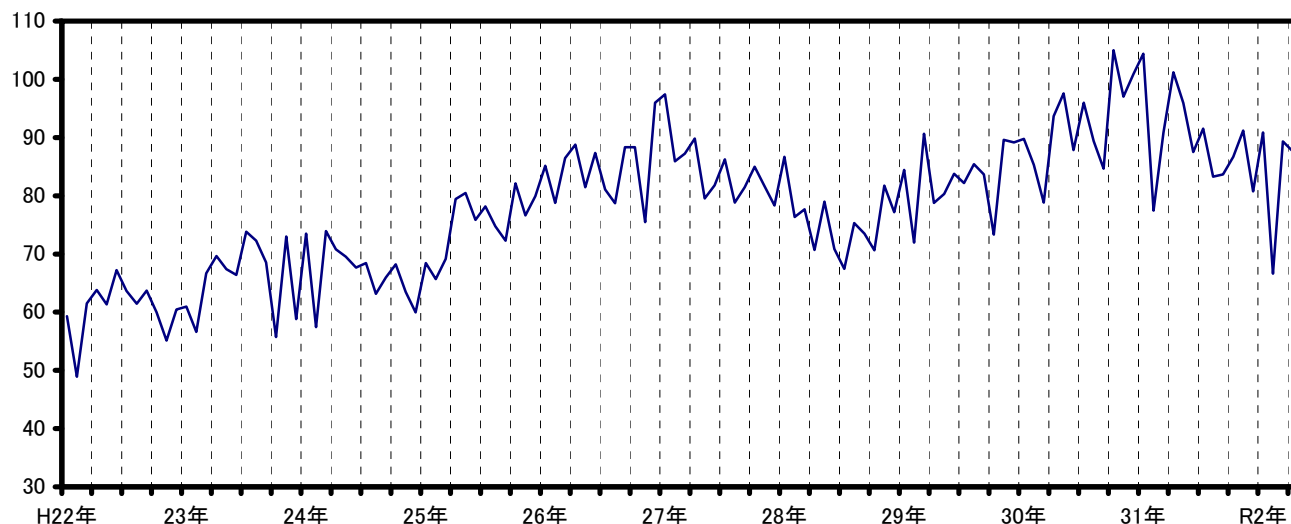
	R元年9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月
アジア	10.0	▲10.8	▲10.1	▲14.4	3.7	▲26.9	7.1	▲15.2
米国	19.9	▲3.2	▲8.2	▲10.7	▲12.5	▲15.4	3.1	33.7
EU	▲2.0	▲37.4	▲27.1	▲32.9	▲40.9	▲18.6	▲18.3	▲18.9

<資料>清水税関支署

### <過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署



# 生 産 面

## 1 生 産

### (1) 鉱工業生産指数

4 月 = 75.9

(平成27年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

\*前月比(季節調整済指数) : 20.4%減

\*前年同月比(原指数) : 27.0%減

#### <概 況>

4月の鉱工業生産指数(総合)は75.9(季節調整済指数)で、前月比20.4%減と、3か月連続で低下した。また、前年同月比(原指数)は27.0%減と、11か月連続で前年水準を下回った。

業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比31.2%減)が6か月連続、電気機械(同22.5%減)、パルプ・紙・紙加工品(同4.4%減)がいずれも9か月連続、輸送機械(同53.7%減)が15か月連続、化学(同7.4%減)が3か月連続、食料品・たばこ(同5.3%減)が2か月連続で前年水準を下回った。

#### <最近の動き>

	R元年9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月
指 数	100.2	99.7	102.3	98.9	100.8	98.6	95.4	75.9
前 月 比 (%)	2.2	▲ 0.5	2.6	▲ 3.3	1.9	▲ 2.2	▲ 3.2	▲ 20.4
前 年 同 月 比 (%)	▲ 4.9	▲ 7.1	▲ 5.8	▲ 5.9	▲ 4.3	▲ 7.1	▲ 5.7	▲ 27.0
(参考)全国前年同月比(%)	1.1	▲ 7.7	▲ 8.1	▲ 3.1	▲ 2.5	▲ 4.7	▲ 5.2	▲ 15.0

(注)平成27年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

#### <県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R元年9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲ 7.6	1.8	▲ 0.5	▲ 4.5	▲ 7.6	▲ 15.3	▲ 9.1	▲ 31.2
電 気 機 械 工 業	▲ 14.6	▲ 11.4	▲ 4.7	▲ 8.3	▲ 16.0	▲ 21.8	▲ 8.1	▲ 22.5
輸 送 機 械 工 業	▲ 10.6	▲ 10.3	▲ 6.6	▲ 8.5	▲ 5.7	▲ 6.2	▲ 5.8	▲ 53.7
化 学 工 業	5.4	▲ 0.9	▲ 7.7	3.0	3.0	▲ 1.8	▲ 1.8	▲ 7.4
パルプ・紙・紙加工品工業	▲ 7.7	▲ 8.6	▲ 9.4	▲ 4.2	▲ 5.4	▲ 5.4	▲ 6.4	▲ 4.4
食料品・たばこ工業	5.0	▲ 6.4	0.4	▲ 3.4	2.8	3.2	▲ 1.4	▲ 5.3

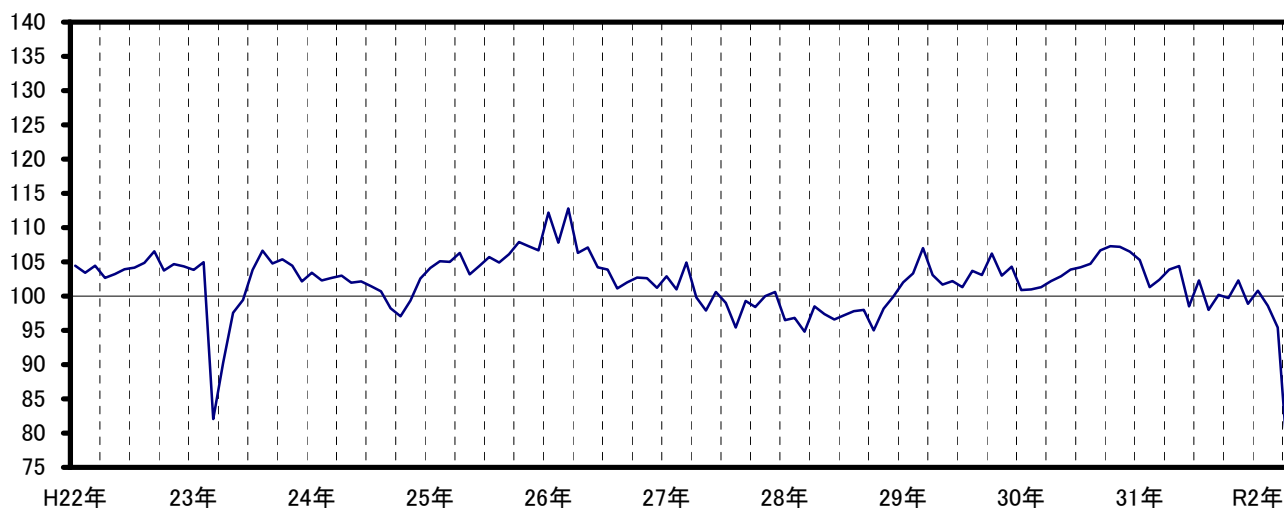
(注)平成27年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

#### <過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



## (2) 鋳工業在庫指数

4 月 = 110.0

(平成27年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

\* 前月比(季節調整済指数) : 0.4%増

\* 前年同月比(原指数) : 0.4%減

### <概況>

4月の鋳工業在庫指数(総合)は110.0(季節調整済指数)で、前月比は0.4%増と、2か月連続で上昇した。また、前年同月比(原指数)は0.4%減と、2か月連続で前年水準を下回った。  
 なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今期は「在庫調整局面(景気後退期)」に該当する。  
 業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比 21.9%増)が16か月連続、化学(同 6.9%増)が3か月ぶり、食料品・たばこ(同 13.4%増)が14か月連続で前年水準を上回ったものの、電気機械(同 8.7%減)が4か月連続、輸送機械(同 27.1%減)、パルプ・紙・紙加工品(同 8.3%減)がいずれも2か月連続で前年水準を下回った。

### <最近の動き>

	R元年9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月
指数	105.3	107.6	109.0	113.8	114.7	108.0	109.6	110.0
前月比(%)	▲4.4	2.2	1.3	4.4	0.8	▲5.8	1.5	0.4
前年同月比(%)	▲9.5	▲3.2	▲0.8	▲0.4	4.8	1.3	▲2.6	▲0.4
(参考)全国前年同月比(%)	0.7	2.6	1.5	1.3	3.8	1.4	2.9	2.7

(注)平成27年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

### <県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R元年9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月
はん用・生産用・業務用機械工業	22.9	24.9	33.4	29.6	31.3	31.0	31.3	21.9
電気機械工業	7.4	2.6	2.4	3.7	▲0.4	▲11.7	▲9.7	▲8.7
輸送機械工業	▲47.9	▲18.7	▲27.3	▲19.3	6.8	32.5	▲5.9	▲27.1
化学工業	▲17.4	▲8.8	4.9	▲3.6	6.8	▲10.9	▲2.0	6.9
パルプ・紙・紙加工品工業	▲7.5	▲1.6	0.3	8.8	10.5	6.9	▲6.9	▲8.3
食料品・たばこ工業	16.0	6.6	5.0	20.2	6.0	11.8	3.4	13.4

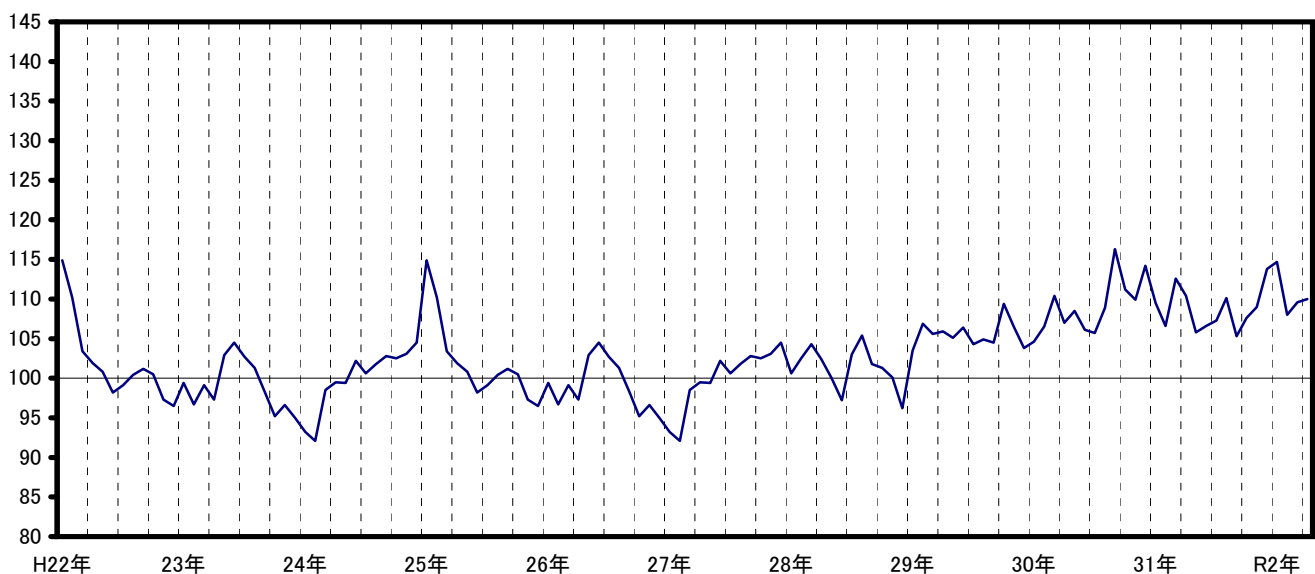
(注)平成27年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

### <過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



# 雇 用 面

## 1 雇 用

### (1) 有効求人倍率

**4 月 = 1.17倍**

\*前月比（季節調整値）：0.05ポイント減

（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）

#### <概 況>

4月の有効求人倍率（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）は1.17倍となり、前月を0.05ポイント下回った。また、13か月連続で全国値を下回った。新規求人（学卒、パートタイムを除く）（前年同月比 30.1%減）は20か月連続で前年実績を下回った。

産業別にみると、建設業（前年同月比 9.4%減）、運輸業・郵便業（同 23.4%減）、卸売業・小売業（同 22.6%減）がいずれも4か月連続、製造業（同 38.5%減）が17か月連続、情報通信業（同 22.8%減）が3か月連続、医療・福祉（同 10.7%減）が6か月連続、サービス業（他に分類されないもの）（同 51.1%減）が12か月連続で前年実績を下回った。

#### <最近の動き>

（単位：倍）

	R元年9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月
県	1.54	1.51	1.47	1.47	1.38	1.27	1.22	1.17
全 国	1.58	1.58	1.57	1.57	1.49	1.45	1.39	1.32

（注）季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<資料>厚生労働省

#### <産業別新規求人前年同月比の推移>

（単位：%）

	R元年9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月
建 設 業	9.0	0.0	▲ 7.0	2.0	▲ 13.4	▲ 17.6	▲ 9.1	▲ 9.4
製 造 業	▲ 12.6	▲ 20.7	▲ 26.3	▲ 16.2	▲ 26.2	▲ 28.1	▲ 31.2	▲ 38.5
情 報 通 信 業	▲ 24.7	▲ 13.7	13.2	▲ 37.7	2.5	▲ 29.4	▲ 53.3	▲ 22.8
運 輸 業 ・ 郵 便 業	11.7	▲ 6.1	▲ 12.8	21.4	▲ 10.5	▲ 6.7	▲ 9.1	▲ 23.4
卸 売 業 ・ 小 売 業	30.1	▲ 16.8	▲ 20.0	0.4	▲ 25.1	▲ 27.6	▲ 12.2	▲ 22.6
医 療 ・ 福 祉	▲ 5.5	2.6	▲ 7.4	▲ 9.3	▲ 3.3	▲ 17.2	▲ 16.8	▲ 10.7
サービス業（他に分類されないもの）	▲ 30.8	▲ 29.1	▲ 41.2	▲ 13.0	▲ 42.6	▲ 51.4	▲ 41.1	▲ 51.1
合 計	▲ 4.1	▲ 14.1	▲ 18.5	▲ 5.8	▲ 23.3	▲ 28.9	▲ 18.9	▲ 30.1

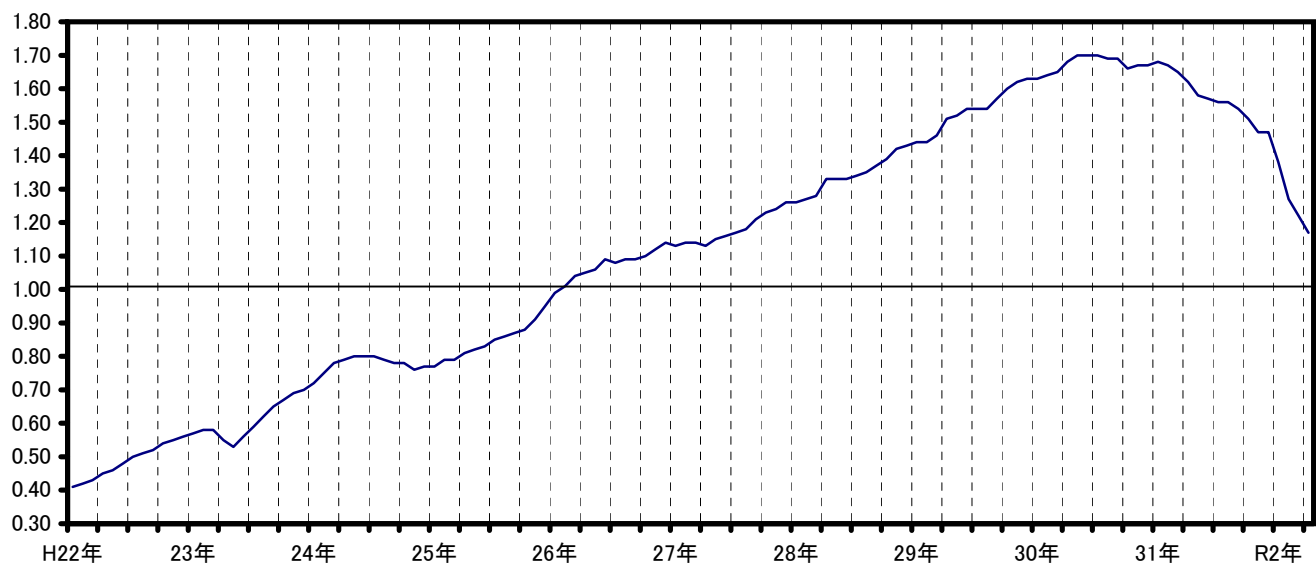
（注）学卒、パートタイムを除く

<資料>厚生労働省

#### <過去10年間の推移>

有効求人倍率（学卒を除き、パートタイムを含む）（倍）

<資料>厚生労働省





(2) 雇用保険受給者実人員

4月 = 9,880人

\*前月比: 3.1%減

\*前年同月比: 1.6%増

<概況>

4月の雇用保険受給者実人員は9,880人で、前月比は3.1%減と、2か月ぶりに前月を下回った。また、前年同月比は1.6%増と8か月連続で前年実績を上回った。

完全失業率(全国)は2.6%と前月から0.1ポイント悪化した。

静岡県(令和2年1月~3月)の完全失業率は2.0%で、前期(令和元年10月~12月)と同水準だった。

<最近の動き>

	R元年9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月
実人員(人)	11,529	11,551	10,895	10,675	10,717	10,142	10,192	9,880
前月比(%)	1.4	0.2	▲5.7	▲2.0	0.4	▲5.4	0.5	▲3.1
前年同月比(%)	8.7	6.1	6.9	11.5	8.0	6.5	7.7	1.6
(参考)全国前年同月比(%)	3.3	0.2	1.5	8.1	6.2	3.6	6.7	1.0

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	R元年9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月
完全失業率(全国)(%)	2.4	2.4	2.2	2.2	2.4	2.4	2.5	2.6

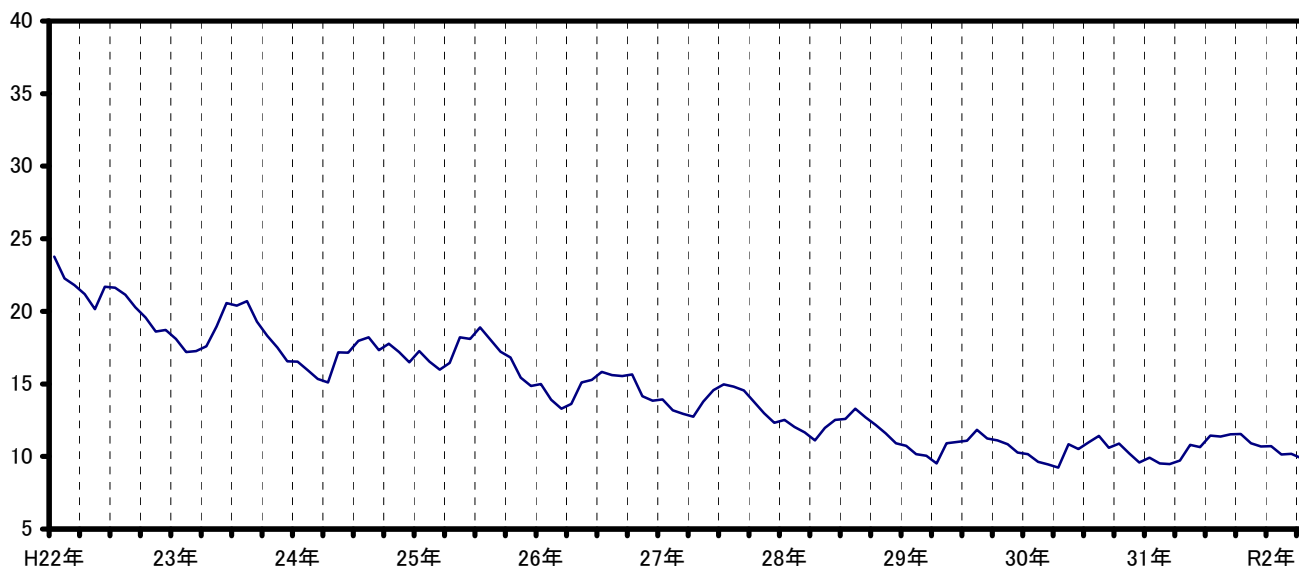
(注)季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省



### (3) 所定外労働時間指数

3月 = 89.9

\*前月比(季節調整済指数): 2.0%増

(平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) \*前年同月比(原指数) : 3.1%減

#### <概況>

3月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は89.9(季節調整済指数)で、前月比2.0%増となった。また、前年同月比(原指数)は3.1%減と14か月連続で前年実績を下回った。

業種別にみると、建設業(前年同月比96.1%増)が10か月連続、卸売業・小売業(同13.9%増)が2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、製造業(同7.1%減)が17か月連続、情報通信業(同20.6%減)が4か月連続、運輸業・郵便業(同14.0%減)、医療・福祉(同11.9%減)がいずれも5か月連続で前年実績を下回った。その他のサービス業は前年実績と同水準だった。

#### <最近の動き>

	R元年8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月
指数	90.9	87.6	85.1	81.8	84.4	90.8	88.1	89.9
前月比(%)	2.8	▲3.6	▲2.9	▲3.9	3.2	7.6	▲3.0	2.0
前年同月比(%)	▲3.9	▲3.8	▲10.1	▲13.8	▲8.2	▲3.2	▲6.1	▲3.1
(参考)全国前年同月比(%)	▲1.7	0.0	▲2.3	▲3.8	▲3.9	▲2.5	▲3.2	▲7.1

\*平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

#### <県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R元年8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月
建設業	177.0	177.0	152.7	159.7	178.9	73.3	113.8	96.1
製造業	▲12.8	▲16.7	▲19.8	▲21.3	▲16.2	▲9.6	▲11.5	▲7.1
情報通信業	12.2	12.4	▲6.7	1.2	▲8.3	▲24.4	▲20.9	▲20.6
運輸業・郵便業	0.0	3.3	3.5	▲2.2	▲1.8	▲11.9	▲9.3	▲14.0
卸売業・小売業	14.3	15.2	21.9	5.3	11.8	3.9	▲1.3	13.9
医療・福祉	▲16.1	23.5	0.0	▲20.5	▲1.7	▲1.4	▲14.6	▲11.9
その他のサービス業	▲6.6	6.3	▲5.7	0.0	▲6.7	▲6.5	▲7.4	0.0
調査産業計	▲3.9	▲3.8	▲10.1	▲13.8	▲8.2	▲3.2	▲6.1	▲3.1

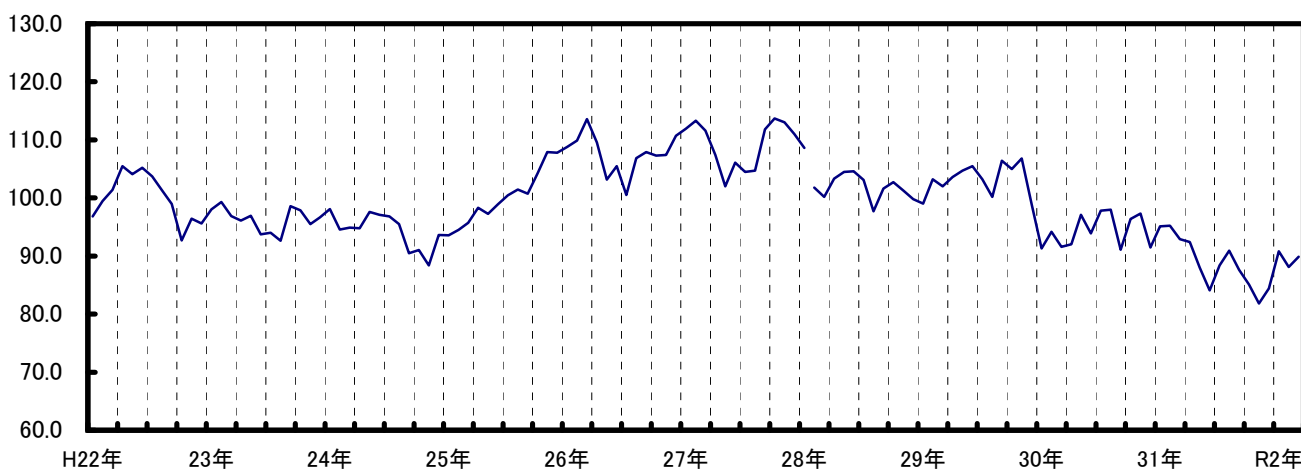
\*平成27年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

#### <過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



## そ の 他

### 1 物 価

#### 国内企業物価指数

5 月 = 99.1

(平成27年=100)

\*前 月 比: 0.4%下落

\*前年同月比: 2.7%下落

#### <概 況>

5月の国内企業物価指数は99.1となり、前月を0.4%の下落となった。また、前年同月比は2.7%の下落となった。

#### <最近の動き>

	R元年10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月	5月
国内企業物価指数	102.1	102.2	102.3	102.4	102.0	101.1	99.5	99.1
前 月 比 (%)	1.2	0.1	0.1	0.1	▲ 0.4	▲ 0.9	▲ 1.6	▲ 0.4
前年同月比 (%)	▲ 0.3	0.2	0.9	1.5	0.8	▲ 0.4	▲ 2.4	▲ 2.7

\*平成27年=100

<資料>日本銀行

### 2 金 融

#### (1) 県内金融機関貸出残高

4 月 = 138,387億円

(銀行、信用金庫)

\*前 月 比: 0.8%増

\*前年同月比: 1.7%増

#### <概 況>

4月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は138,387億円で、前月比は0.8%の増加となった。また、前年同月比は1.7%の増加となった。

	R元年9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月
貸出残高(億円)	136,142	134,978	135,303	136,220	136,481	136,721	137,249	138,387
前 月 比 (%)	0.4	▲ 0.9	0.2	0.7	0.2	0.2	0.4	0.8
前年同月比 (%)	▲ 2.0	▲ 1.7	▲ 1.5	▲ 1.9	▲ 0.8	▲ 0.4	▲ 0.8	1.7

<資料>日本銀行静岡支店

#### (2) 貸出約定金利

4 月 = 1.723%

(県内地銀4行総平均)

\*前 月 差: 0.017ポイント減

\*前年同月差: 0.117ポイント減

#### <概 況>

4月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は1.723%で、前月から0.017ポイントのマイナスとなった。なお、前年同月差は0.117ポイントのマイナスとなった。

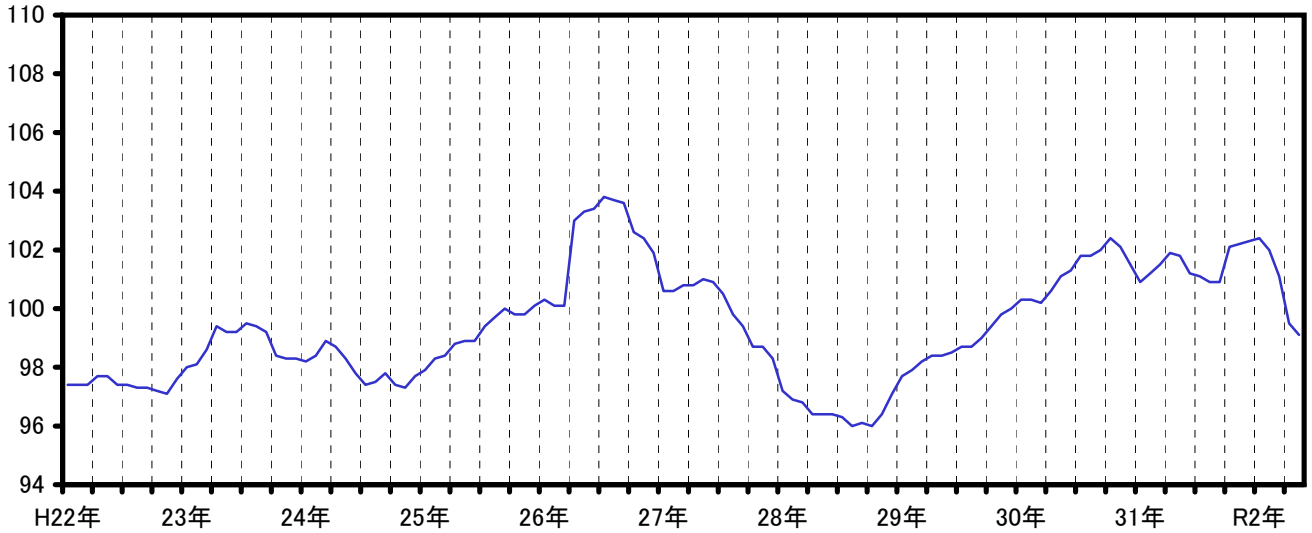
	R元年9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月
貸出約定金利(%)	1.773	1.770	1.758	1.739	1.769	1.761	1.740	1.723
前月差(ポイント)	▲ 0.013	▲ 0.003	▲ 0.012	▲ 0.019	0.030	▲ 0.008	▲ 0.021	▲ 0.017
前年同月差(ポイント)	▲ 0.204	▲ 0.200	▲ 0.194	▲ 0.186	▲ 0.151	▲ 0.148	▲ 0.145	▲ 0.117

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

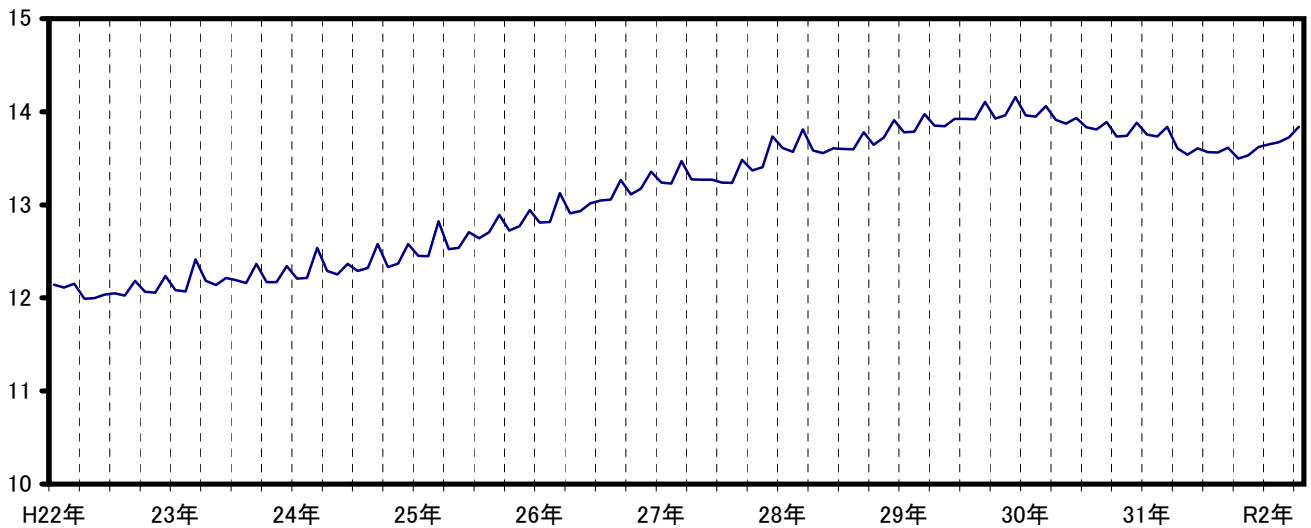
国内企業物価指数(平成27年=100)

<資料>日本銀行



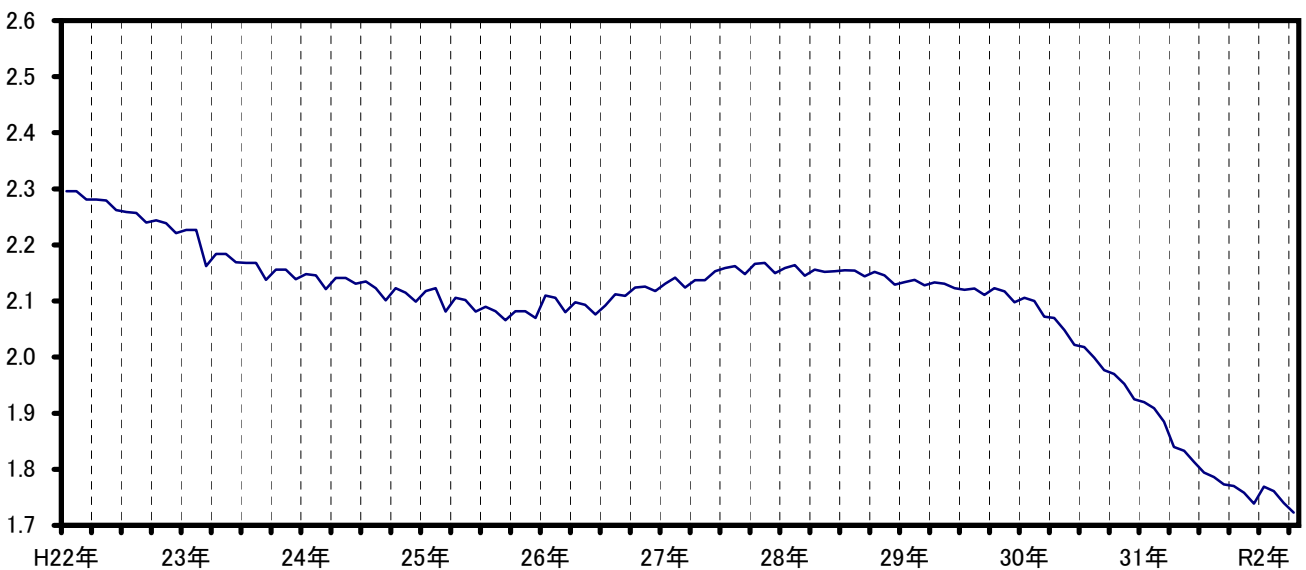
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



**(3) 信用保証協会保証金額****4 月 = 132,181百万円**

\*前年同月比：1178.7%増

## &lt;概況&gt;

4月の保証承諾は、金額は132,181百万円（前年同月比1178.7%増）、件数は6,152件（同459.4%増）と、いずれも2か月連続で前年実績を上回った。

## &lt;最近の動き&gt;

	R元年9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月
保証金額（百万円）	18,990	17,473	20,407	20,126	13,977	14,832	28,818	132,181
前年同月比（%）	1.8	8.4	14.8	2.9	9.9	▲7.4	49.6	1,178.7
保証件数（件）	1,844	1,801	2,011	2,028	1,416	1,550	2,582	6,152
前年同月比（%）	▲0.8	6.4	15.3	7.4	5.7	▲2.7	34.0	459.4

&lt;資料&gt;県信用保証協会

**(4) 円相場****5 月 = 107.31円/ドル**

\*前月差：0.62円高

（東京・銀行間直物中心・平均）

\*前年同月差：2.52円高

## &lt;概況&gt;

5月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は107.31円で、前月と比べて0.62円の円高となり、2か月ぶりに円高となった。

## &lt;最近の動き&gt;

	R元年10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月	5月
平均相場（円）	108.12	108.86	109.18	109.34	109.96	107.29	107.93	107.31
前月差（円）	0.29	0.74	0.32	0.16	0.62	▲2.67	0.64	▲0.62
前年同月差（円）	▲4.66	▲4.51	▲3.27	0.39	▲0.40	▲3.92	▲3.73	▲2.52

▲…円高

（注）東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

**3 企業経営****企業倒産件数****5 月 = 11件**

\*前年同月比：35.2%減

## &lt;概況&gt;

5月の負債総額1,000万円以上の企業倒産は、件数は11件（前年同月比35.2%減）、負債総額は1,669百万円（同9.6%減）と、いずれも前年実績を下回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が9件と全体の81.8%を占め、270か月連続して50%以上となっている。

## &lt;最近の動き&gt;

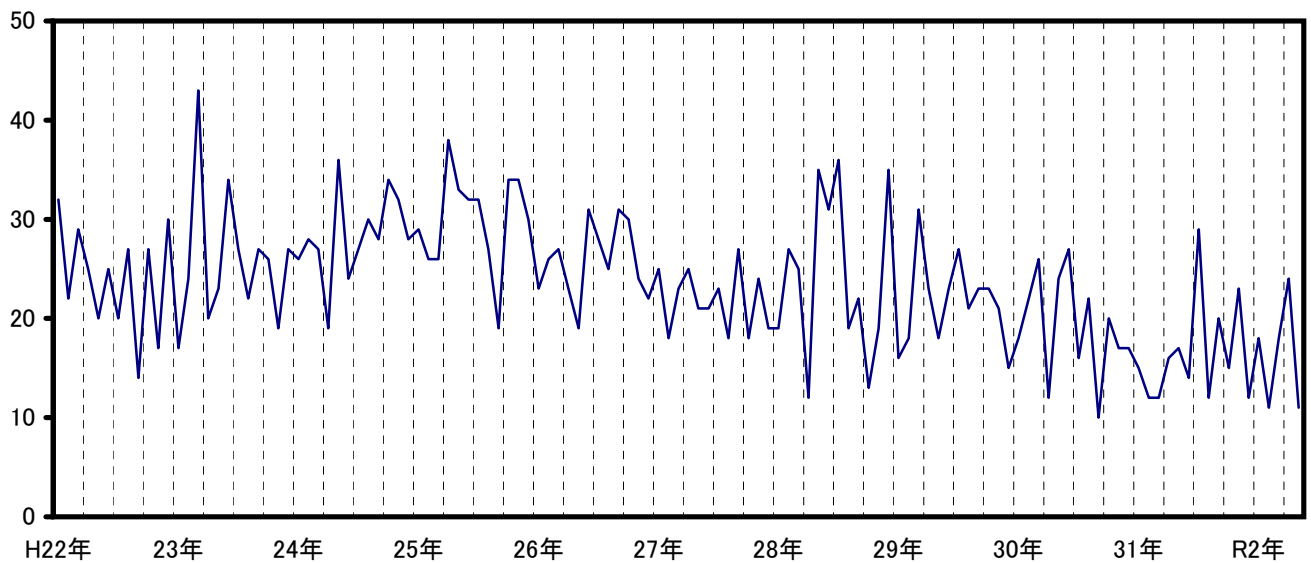
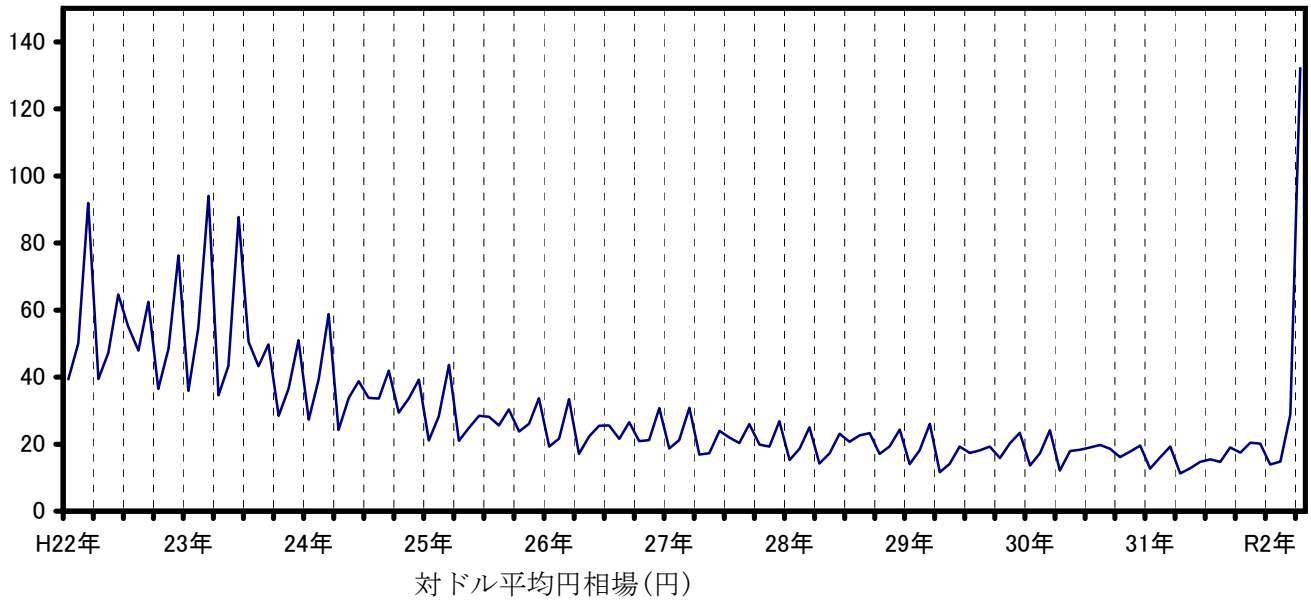
	R元年10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月	5月
倒産件数（件）	15	23	12	18	11	18	24	11
前年同月比（%）	▲25.0	35.2	▲29.4	20.0	▲8.3	50.0	41.1	▲35.2
うち不況型倒産件数（件）	11	22	10	14	11	17	21	9
負債総額（百万円）	1,722	2,905	41,289	5,945	1,448	2,270	7,493	1,669
前年同月比（%）	▲51.9	29.8	1,558.8	381.3	▲3.1	▲47.5	191.3	▲9.6

&lt;資料&gt;（株）東京商工リサーチ静岡支社

<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会



### Ⅲ 令和2年4月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車	<p>3月の国内二輪車生産台数は、46,687台（前年同月比 4.9%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。原付第一種（50cc以下）は、12,015台（同 9.3%増）と、6か月ぶりに前年実績を上回った。原付第二種（51cc～125cc）は、2,019台（同 34.6%減）と、4か月連続で前年実績を下回った。軽二輪車（126cc～250cc）は、2,950台（同 2.4%減）と、5か月ぶりに前年実績を下回った。小型二輪車（251cc以上）は、29,703台（同 7.2%減）と、4か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは、40,470台（同 6.4%増）と、6か月ぶりに前年実績を上回った。輸出向けは、34,246台（同 13.2%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車	<p>3月の自動車国内生産台数は、828,702台（前年同月比 8.0%減）と、6か月連続で前年実績を下回った。輸出は379,956台（同 12.2%減）と、6か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>国内生産は、乗用車が6か月連続、トラックが8か月連続で前年実績を下回ったことから、全体でも6か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>4月の冷蔵庫の国内出荷額は315億円（前年同月比 2.0%増）と、3か月ぶりに前年実績を上回り、国内出荷台数は271千台（同 1.3%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>4月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは598千台（同 8.2%減）と、7か月連続で前年実績を下回った。業務用は59千台（同 26.7%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>4月の携帯電話の国内出荷台数は、1,007千台（同 9.2%増）と、4か月ぶりに前年実績を上回った。うち、スマートフォンは、780千台（同 67.9%増）と、4か月ぶりに前年実績を上回った。単月のスマートフォン比率は77.5%だった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、J E I T A / C I A J</p>
生産用機械	<p>4月の工作機械の受注総額は、561億4,300万円（前年同月比 48.3%減）と、19か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>内訳をみると、外需は349億9,400万円（同 46.3%減）と、19か月連続で前年実績を下回った。アジア向けが176億7,600万円（同 35.4%減）と、23か月連続で前年実績を下回った。内需は211億4,900万円（同 51.4%減）と、17か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>県内中小企業からは、「新型コロナウイルスの影響で生産量が下がり続けている。」という声や「1年以上先への納期延期、設備投資意欲低下による新規受注の減退により、先行きが見通せない状況。」という声が聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>

業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>4月の県内楽器メーカーの販売金額は、43億3,083万円（前年同月比17.7%減）と、7か月連続で前年実績を下回った。内訳は輸出向けが23億8,495万円（同10.2%減）と、国内向けが19億4,589万円（同25.4%減）だった。</p> <p>ピアノ生産台数は2,209台（同29.0%減）だった。機種別では、アップライトピアノが1,489台（同27.4%減）、グランドピアノ720台（同32.1%減）だった。また、販売台数は、輸出向けが1,716台（同18.9%減）、国内向けが716台（同29.8%減）だった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>4月の紙・板紙の国内出荷高は、1,867千トン（前年同月比9.4%減）と、9か月連続で前年実績を下回った。内訳は、紙は898千トン（同14.3%減）と、9か月連続で前年実績を下回った。板紙は969千トン（同4.3%減）と、7か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、464千トン（同19.7%減）と、9か月連続で前年実績を下回った。ティッシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、160千トン（同6.2%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p>
缶詰・飲料	<p>4月の県内生産量は、食缶類が国内向け1,173千箱（前年同月比17.2%増）と、4か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は802千箱（同18.5%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。うち主力であるツナ缶は625千箱（同23.2%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は371千箱（同14.4%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが7,742千箱（同0.04%減）と、4か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県缶詰協会</p>
織 維	<p>4月の広幅織物の県内生産は、1,028千㎡（前年同月比19.6%減）と、11か月連続で前年実績を下回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、963千㎡（同19.4%減）と、13か月連続で前年実績を下回った。別珍・コールテンの生産は、65千㎡（同22.7%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>小幅織物の県内生産は、20千㎡（同25.5%減）と、25か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>
家 具	<p>4月の全国百貨店での家具販売額は、24億6,070万円（前年同月比46.5%減）と、7か月連続で前年実績を下回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、606億181万円（同24.9%減）と、7か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会</p>



業 種	産 業 動 向
小 売 業	<p>4月の県内百貨店・スーパーの販売額は、31,454百万円（既存店前年同月比11.9%減）と前年実績を下回った。品目別では、飲食料品を除く全ての品目（衣料品、身の回り品、家庭用品、その他の商品、食堂・喫茶）で、前年同月を下回り、特に、衣料品、身の回り品、食堂・喫茶の減少幅が大きかった。</p> <p>西部の百貨店への聞き取りによると、新型コロナウイルス感染拡大防止のための外出自粛の影響で、来客数が大きく減少したほか、4月16日に緊急事態宣言が発令されたことに伴い、食料品フロアを除き休業した影響で、売上げが前年同月を大きく下回った。</p> <p>中部の専門店への聞き取りによると、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月中旬から約1か月間、臨時休業した影響で、来客数及び売上げは前年同月を大きく下回った。</p> <p>東部の食品スーパーへの聞き取りによると、自宅で食事する人が増えたことで、需要が高まり、売上げは前年同月を上回った。また、外出自粛の影響で、買いためをする人が増えたため、客単価も増加していた。スーパー事業と並行して実施する移動販売においても、需要が高まり、販売量が急増していた。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響が、百貨店、専門店、食品スーパーと、全ての業態で、大きく現れる結果となった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞ 関東経済産業局、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>4月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約13万人で、前年同月比76.5%減となった。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響を受けた施設が多く、3月2日から休館している掛川城は4月も引き続き休館し、入込客数は0であった。その他の調査対象施設（9施設）においても、全ての施設で入込客数は前年同月を下回った。</p> <p>主要有料道路（4路線<sup>※1</sup>）の合計通行車両数は、約32万台となり、前年同月比55.8%減となった。</p> <p>※1 遠州大橋（新掛塚橋）が9月28日から無料化されたことに伴い、10月から対象が5路線から4路線へと減少</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞ 静岡県観光政策課</p>

## ＝ IVデータからみた県内主要産業 ＝

### <二輪車>

	R元年8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月
完成車生産台数(台)	16,219	24,634	25,844	26,437	24,281	26,140	25,984	20,626	18,471
前年同月比(%)	49.9	14.8	▲ 11.7	0.9	▲ 1.1	7.6	3.1	▲ 5.6	▲ 2.3
KD輸出額(百万円)	959	1,020	1,233	1,576	1,544	1,278	1,559	1,524	1,082
前年同月比(%)	53.7	43.9	58.2	112.2	104.9	67.1	91.1	91.8	25.4

### <楽 器>

	R元年8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月
生産総額(百万円)	2,660	3,000	3,283	3,211	3,099	3,062	2,707	3,166	1,997
前年同月比(%)	▲ 3.9	8.4	▲ 5.6	▲ 4.1	5.0	8.9	▲ 10.7	0.5	▲ 39.6

### <缶詰>

	R元年8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月
食缶生産高(千ケース)	901	937	1,036	1,110	993	873	842	1,006	1,173
前年同月比(%)	▲ 6.7	▲ 0.6	▲ 0.7	7.3	4.7	▲ 5.7	▲ 5.5	▲ 0.2	17.2
うち水産缶詰(%)	▲ 13.3	▲ 6.6	▲ 5.9	2.8	▲ 1.8	▲ 16.9	▲ 8.3	1.2	18.5
農畜産缶詰(%)	10.0	14.9	11.7	17.9	19.8	23.9	0.2	▲ 2.8	14.4
飲料缶生産高(千ケース)	6,578	6,904	6,575	7,153	5,910	4,888	6,002	8,263	7,742
前年同月比(%)	▲ 11.2	1.9	▲ 4.5	2.1	▲ 3.7	5.1	8.1	6.9	▲ 0.0

### <織 維>

	R元年8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月
広幅織物(千㎡)	1,070	1,307	1,370	1,530	1,381	1,224	1,140	1,080	963
前年同月比(%)	▲ 6.9	▲ 2.7	▲ 8.4	▲ 11.0	▲ 15.7	▲ 16.2	▲ 13.1	▲ 15.8	▲ 19.4
小幅織物(千㎡)	20	23	26	26	25	25	24	22	20
前年同月比(%)	▲ 14.7	▲ 16.5	▲ 10.8	▲ 14.3	▲ 16.6	▲ 14.2	▲ 13.7	▲ 16.4	▲ 25.5

### <観 光>

	R元年8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月
観光施設(10施設)入込 (千人)	514	371	313	382	264	313	301	345	131
前年同月比(%)	▲ 3.2	4.7	▲ 15.9	▲ 2.9	▲ 6.7	2.3	8.2	▲ 28.2	▲ 76.5
有料道路(4路線 <sup>※</sup> )通行量 (千台)	881	714	495	556	564	512	556	532	318
前年同月比(%)	▲ 1.1	5.8	▲ 9.4	▲ 1.8	0.7	▲ 1.2	8.4	▲ 13.3	▲ 55.8

※令和元年9月までは5路線、令和元年10月以降は4路線

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

静岡県公式ホームページ⇒統計・調査⇒統計センターしずおか⇒県内主要統計指標  
<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・専門量販店等販売額	・鉱工業在庫指数	・雇用保険受給者実人員	・県内金融機関貸出残高
・自動車新規登録台数		・完全失業率	・信用保証協会保証金額
・新設住宅着工戸数		・所定外労働時間指数	・企業倒産件数
・清水税関支所管内輸出額			
・清水税関支所管内輸入額			

### 提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	<a href="http://www.ejcs.co.jp/region/index.html">http://www.ejcs.co.jp/region/index.html</a>
設備投資	日本銀行静岡支店	<a href="http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html">http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html</a>
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	<a href="http://www.boj.or.jp/type/statat/boj_stat/index.htm">http://www.boj.or.jp/type/statat/boj_stat/index.htm</a>
円相場		

### 参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	<a href="http://www.meti.go.jp/statistics/index.html">http://www.meti.go.jp/statistics/index.html</a>
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	<a href="http://www.mof.go.jp/siryou.htm">http://www.mof.go.jp/siryou.htm</a>
国際収支		
機械受注	内閣府	<a href="http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html">http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html</a>
完全失業率	厚生労働省	<a href="http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html">http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html</a>
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告  
令和2年6月号 通巻530号

発行 静岡県経済産業部  
令和2年6月

編集 経済産業部政策管理局産業政策課  
〒420-8601  
静岡市葵区追手町9-6  
TEL 054-221-2635  
FAX 054-221-3217  
E-mail [sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp](mailto:sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp)  
URL <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>